

「課題名：薬物治療の有効性及び安全性向上に対する薬剤師の介入効果」について

○ 研究の意義・目的

薬剤師は薬剤の副作用の未然回避・重篤化回避を行った事例についてプレアボイドとして日本病院薬剤師会に報告しています。平成 28 年度 4 月より、薬物治療効果向上に関わった事例についてもプレアボイドとして報告する事となりました。そこで当院での薬剤師による薬物治療効果向上事例の報告について、介入事例・内容を解析し、現状と今後の課題について検証するために本研究を開始しました。

○ 研究対象者

平成 28 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日までに、広島大学病院入院中に薬剤師がプレアボイド報告を行った患者さん

○ 研究方法

本研究は、プレアボイドとして報告した事例について、診療録（カルテ）情報及びプレアボイド報告から、性別、年齢、身長、体重、各種検査値、処方内容、介入薬剤、介入内容等を転記して行います。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 研究期間 倫理委員会承認後～平成 34 年 3 月 31 日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5578

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 吉川 博（担当者）